

若月保治
浄瑠璃
著作集
全7巻



クレス出版

『若月保治浄瑠璃著作集』刊行にあたって

小社では、近世の文学・芸能に関する入手困難な稀観書、研究史上重要な資料を、明治・大正・昭和初期に限定して選び、『近世文芸研究叢書』（第一期文学篇全23巻、第二期芸能篇全40巻）として刊行した。

このたびは、第二期芸能篇に「昭和戦中期の刊行」「四巻で約四千五百頁」という理由等で収められなかった若月保治（紫蘭）氏の『古浄瑠璃の（新）研究』のほか、氏の古浄瑠璃関係書を集めて刊行することとした。

若月保治（一八七九—一九六二）氏は、山口県防府市に生まれ、東京帝大英文科卒業後、万朝報に大正十一年まで勤務した。この間『アナトール・フランス傑作集』『青い鳥』の翻訳をはじめ、戯曲、劇評を「帝国文学」ほかに発表、戯曲集『滅び行く家』『石田三成の死』を刊行した。大正十二年頃より国文学研究に転じた。

本来英文学者であった若月氏が、古浄瑠璃に魅せられて編纂した大著に『古浄瑠璃の（新）研究』と、新発見の貴重資料『大和守日記』の翻刻を中心とする『近世初期国劇の研究』が、戦後の古浄瑠璃研究の発展にどれほど寄与したかは計り知れない。

今日、『古浄瑠璃正本集』正編・加賀椽編・角太夫編、『金平浄瑠璃正本集』『土佐浄瑠璃正本集』『説経正本集』などの基本資料

の整備により、『古浄瑠璃の（新）研究』にあげられた正本の多くを手近に置いて読むことが出来るようになったが、なおその辞書的・網羅的な利用価値は失われていない。

『大和守日記』については、発見当時までこの種の大名日記が浄瑠璃研究の資料になるとさえ考えられていなかったのであり、その後徐々に大名記録類が紹介されるようになったが、ついに『大和守日記』を上回る規模のものは現れていない。松平直矩が人なみ以上に芝居好きだったことによるのだが、戦争が近づくなか、熱心に筆写、出版を敢行された若月氏の努力がなければ、今日にこの資料の大部分は伝わらなかったのである。人と資料の出会いの運命に思いを致さずにはいられない。

これらに先だつて著された『近松人形浄瑠璃の研究』、資料博捜を踏まえて書かれた『人形浄瑠璃史研究』も、今日改めて検討されるべき重要な論考であることは言をまたない。しかし、いずれも戦前戦中の困難な時期に出版された書として、紙質の劣化が甚だしく、また極めて入手困難な状況であった。ここに復刻版を作成し、今後の浄瑠璃史研究・出版史研究等にいささかでも貢献することを望むものである。

『若月保治浄瑠璃著作集』全巻構成

① 近松人形浄瑠璃の研究

●昭和9年6月／第一書房

- 〔内容〕 第一篇 近松年代表・浄瑠璃表、作品概観と其一生、近松の時代物と世話物、近松浄瑠璃構成の要素
第二篇 近松と義理・道義観・人生観、心中の原因
第三篇 近松と浄瑠璃の戯曲的発達、浄瑠璃段数の発達
第四篇 操浄瑠璃の起源、人形の構造・首・髪・衣裳・遣ひ方、竹本座以後の近松とからくり
第五篇 義太夫の音楽的構成と其発達・語り方の態度と其変遷、義太夫節及び先行姉妹芸の曲節名目
第六篇 近松と人形の舞踊、操芝居に対する近松の理解
第七篇 義太夫節の盛因と近松物の衰因、近松と歌舞伎との交渉、近松研究の参考書

（一部抜萃）

③ 近世初期国劇の研究

●昭和19年10月／青磁社

- 〔内容〕 国劇史上国史的資料の発見、松平大和守日記の国史的価値、新発見の浄瑠璃正本、資料篇、研究篇（歌舞伎、浄瑠璃、正本研究）

④ 古浄瑠璃の研究 全四巻

第一巻 慶長・寛文篇

●昭和18年2月／桜井書店

- 〔内容〕 創始期の浄瑠璃、寛永・承応期の浄瑠璃、明暦・寛文期の浄瑠璃、慶長寛文期補訂

第二巻 延宝・享保篇 上

●昭和19年1月／桜井書店

- 〔内容〕 延宝・貞享期の浄瑠璃、元禄・享保期の浄瑠璃、延宝貞享期正本概説

第三巻 延宝・享保篇 下

●昭和19年5月／桜井書店

- 〔内容〕 貞享享保期正本概説

第四巻 土佐節・仙台節篇

●昭和19年5月／桜井書店

- 〔内容〕 江戸土佐浄瑠璃の研究、土佐浄瑠璃正本概説、仙台浄瑠璃研究、近松物その他の研究、古浄瑠璃正本概説追加

② 人形浄瑠璃史研究

— 人形浄瑠璃三百年史 —

●昭和18年4月／桜井書店

- 〔内容〕 操芝居前の浄瑠璃、浄瑠璃姫物語、前期—慶長元和頃の操芝居、後期—寛永承応頃の操芝居、前期—明暦寛文の操浄瑠璃、後期—延宝貞享の操浄瑠璃、寛文延宝頃の操芝居の上演、竹本座と豊竹座の操芝居、近松門左衛門とその偉業、元禄期義太夫節以外の浄瑠璃、上方音芸界の極盛、江戸音芸界の勃興、江戸末期の東西操芝居

若月保治浄瑠璃著作集 全7巻

A5判、上製函入、クロス装、本文クリーム中性紙使用

第1回配本 1998年7月刊 揃定価60,000円(税別)

- ① 近松人形浄瑠璃の研究
秋本鈴史解説 定価22,000円(税別) ISBN4-87733-054-2
- ② 人形浄瑠璃史研究—人形浄瑠璃三百年史—
和田 修解説 定価25,000円(税別) ISBN4-87733-055-0
- ③ 近世初期国劇の研究
林久美子解説 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-056-9

第2回配本 1998年11月刊

- ④ 古浄瑠璃の研究 全四巻
阪口弘之解説 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-057-7

クレス出版好評既刊書 (定価は税別)

芭蕉研究資料集成

全39巻 久富哲雄監修・解説
俳諧の世界のみならず、日本文学全体に多大な影響をおよぼした芭蕉の没後三百年を記念して、人物・作品の価値ある研究書を集成。

- 明治篇全9巻 揃定価一〇六、〇〇〇円
- 大正篇全11巻 揃定価一五〇、〇〇〇円
- 昭和前期篇全19巻 揃定価二七五、〇〇〇円

蕪村研究資料集成

全17巻 久富哲雄・谷地快一監修・解説
日本・中国を問わず、古典に親しみ、俳諧に絵画に、自在なる境地を志向した蕪村の明治・大正期に刊行された基礎的研究資料を集成。

揃定価一八六、〇〇〇円

西鶴研究資料集成

全8巻 竹野静雄監修・解説
江戸時代の浮世草子作者・俳諧師井原西鶴の没後三百年を記念して、明治大正、昭和初期に発表された資料約四七〇点を纏めて刊行。

揃定価一二六、〇〇〇円

徳川三百年人物大鑑

全5巻 長田偶得編
徳川三百年間に於ける思想界に勢力のあった碩学鴻儒、文学者美術工芸家名僧、義人烈士等七二名の伝記集。年譜・肖像画付。

揃定価七六、〇〇〇円

源氏物語研究叢書

全17巻 日向一雅監修・解説
明治から昭和二十年代までを中心として、源氏物語の主要な研究書を網羅。近代における研究史を顧みること、細分化し多様化した研究を統合。

揃定価一七五、〇〇〇円

近世文芸研究叢書

全63巻 近世文芸研究叢書刊行会編・解説
近世文学・芸能に関する明治大正に刊行された名著稀書を復刊。

- 第一期文学篇全23巻 揃定価二九一、〇〇〇円
- 1、通史 全7巻 揃定価八〇、〇〇〇円
- 2、一般 全7巻 揃定価九六、〇〇〇円
- 3、作家 全9巻 揃定価一一五、〇〇〇円
- 第二期芸能篇全40巻 揃定価五五八、〇〇〇円
- 1、歌舞伎I 全10巻 揃定価一三五、〇〇〇円
- 2、歌舞伎II 全10巻 揃定価一三八、〇〇〇円
- 3、浄瑠璃 全10巻 揃定価一四五、〇〇〇円
- 4、舞踊・邦楽・諸芸・雑纂 全10巻 揃定価一四〇、〇〇〇円

俚言集覧 自筆稿本版

全11巻 太田全斎編 ことわざ研究会監修・解説
江戸時代の代表的な三大国語辞書の一つ『俚言集覧』の唯一の稿本を『移山伊呂波集』とともに復刻。活字本にはない画像や刺記、書き込み等も多く、研究者に新たな資料を供与する。

揃定価一五〇、〇〇〇円

市島春城随筆集

全11巻 藤原秀之解説
新聞記者、政治家、図書館人、文人春城——彼の体験や交友、早稲田や大隈重信、趣味である古書書翰蒐集や印章などを綴った随筆を刊行。

揃定価一〇二、〇〇〇円

野口米次郎選集

全3巻 丸山信解説
英詩人としてその名を知られる「ヨネ・ノグチ」こと野口米次郎の詩論、文学・芸術論を新に編集
1 俳句和歌論 三、二〇〇円 2 日本絵画芸術論
3 海外文学・詩論 各三、四〇〇円

